

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

令和2年10月10日 NO.57

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

9月定例会

令和元年度決算

災害復旧工事の本格実施 庁舎・病院建設で

152億6500万円の歳出決算

9月定例会は、4日から18日まで開かれました。令和元年度の決算数値は、表のとおりです。

歳出総額は、152億6500万円で昨年度の決算と比べて、5億547万円(▲3.2%)の減となりました。

一般会計(▲3.6%)

特別会計(▲2.3%)病院事業会計(▲1.0%)となつています。全体としては、前年度実施の繰り上げ償還がなかった事が減の大きな要因です。

実質公債費比率など財政指数はかなり改善されています。地方債(借金)の現在高は122億4572万円(合併時は220億9400万円)の減です。

債・過疎債・合併特例債などの交付税措置の多い(借金の内70%以上を国から交付される)比較的有利な借金が約半分を占めており、繰上償還(条件の悪い借金を早く返す)など行財政運営への努力の結果が表れています。

基金残高(定期預金)の総額は102億4579万円と昨年より1818万円減少しています。

財政の弾力性を示す経常収支比率は年々増加し82.2%となりました。経費の節減など尚一層の財政健全化への努力が求められます。

次年度執行の1億9400万円の減です。

区分	H27年度	R元年度
基準財政需要額	54億1900	55億7026
標準財政規模	69億2915	60億5555
財政力指数	0.217	0.208
経常収支比率	75.3%	82.2%
公債費比率	6.5%	3.6%
実質公債費比率	8.2%	6.3%
地方債現在高	130億5759	122億4572
基金残高	107億3962	102億4579

会計名	歳決算入額	歳決算出額	翌年度へ繰り越すべき財源	差引残額	
一般会計	119億3446万円	111億7186万円	1億9423万円	5億6837万円	
特別会計	国民健康保険	10億7515万円	9億8398万円		9117万円
	後期高齢者医療	3億5534万円	3億5302万円		232万円
	介護保険	18億0104万円	17億6245万円		3859万円
	簡易水道事業	2億6454万円	2億4321万円	10万円	2123万円
	飲料水供給施設事業	4117万円	3531万円		586万円
	農業集落排水事業	2億4662万円	2億2741万円		1921万円
	総合開発事業	1438万円	1438万円		
	分収育林事業	5万円	5万円		
	計	37億9830万円	36億1981万円	10万円	1億7839万円
病院事業会計	4億7338万円	4億7338万円			
合計	162億0614万円	152億6505万円	1億9433万円	7億4676万円	

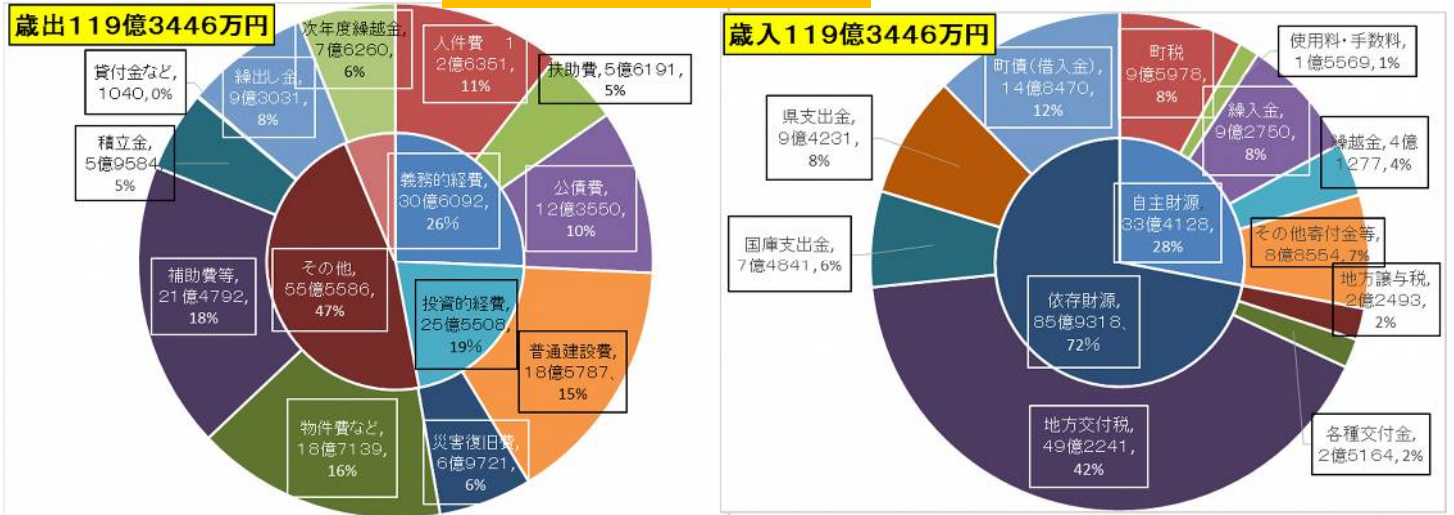
33万円(繰越明許費)を除き7億4676万円が、令和2年度へ繰越されました。一般会計繰越額5億7千万円のうち半額を超える額が財政調整基金に積立予定でです。

自主財源額は繰上償還に伴う減債基金繰入額が減少したため7億4735万円の減(構成比▲5.2%)となりました。

2.1%減と減少傾向ですが、ドローン事業(近田)、道の駅改修工事(近田)にかかる国庫支出金、農林関係など県支出金の増に伴い72%と増加傾向となりました。

一般会計は、次ページの表のとおり、前年度対比で41.2%を占める地方交付税は1億390万円の減

平成元年度一般会計歳入歳出表



令和2年度予算会計別総括表

単位: 万円(四捨五入)

会計名	令和元年度		
	R2年9月補正	9月補正後予算	適用
一般会計	2億4927	142億5376	
国民健康保険	244	10億3765	国保財政調整基金積立16
後期高齢者医療	16	3億8226	
介護保険	-▲154	18億5427	職員人件費▲154
簡易水道事業	1082	2億6496	施設維持管理費698
飲料水供設事業	242	4242	施設維持管理費242
農業集落排水事業	333	2億9184	施設維持管理費300
分収育林事業		10	
総合開発事		180	
特別会計計	1763	38億7530	
病院事業会計	123	9億3321	減価償却費123
合計	2億6813	190億6227	
特別会計+病院事業会計	1886	48億0851	

9月補正

総額で2億6813万円。うちコロナ関連は295万2千円。財源の主なものは、国・県庫支出金1億6861万円、繰入金1878万円、町債4740万円などです。

条例制定など

○特別職報酬等審議会条例の一部改正
*委員数を 10人⇒10人以下

<工事請負契約の締結>

○町立病院建設工事
場所 小畠
金額 22億5815万円
請負者 戸田建設(株)
工期 ~R4.1.31

○農集排遠方監視システム工事

場所 町内3か所
金額 5148万円
請負者 (株)アクア
工期 ~R3.3.31

<指定管理者の指定>

施設の名称 町立神石へき地診療所
施設管理者の名称 鈴木クリニック 鈴木 強
指定の期間 R2.10.1~R4.3.31

<人権擁護委員の推薦>

氏名 平元清登さん
任期 法務大臣が委嘱した日から3年間

令和2年9月一般会計補正予算

(単位: 万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	-▲115	9041	出張、研修の中止
総務費	1384	42億6995	出張、研修、イベントの中止▲184、PR路面電車広告中止▲40、オリンピック関連▲417、かがやきネットケーブル1000、住民基本台帳446、社会保険税番号665
民生費	1600	18億8984	高齢者施設管理運営1086、ひとり親臨時給付41、放課後児童施設80
衛生費	-▲845	14億7284	予防接種124、母子保健225、病院事業会計補助▲1482、神龍湖不法投棄処理559
農林水産費	2308	9億0836	トマト就農者募集中止▲9、農業公社(土地)557、百彩館空調659、神石堆肥センター設備846、土地改良区(阿下)200
商工費	100	2億8426	事業継承(企業ふるさと納税)10、スコラ(落雷補修)90
土木費	91	3億4827	道路維持対策100
消防費	120	4億3759	消防団活動縮小▲400、山崩れ発生予知(ハッテリー)379、防災100
教育費	-▲1763	7億6184	小中高支援事業▲779(海外交流事業▲232)、英語教育推進▲316、コンサート中止▲170、スポーツ教室中止▲38
災害復旧費	2億0027	20億8754	現年農地災害復旧8874、現年林道災害復旧1300、現年道路橋梁災害復旧9853
公債費		13億1894	
諸支出金	2019	3億4391	保健医療福祉支援基金積立1605、かがやきネット基金積立415
予備費		4000	
合計	2億4927	142億5375	

○経常収支比率の増加傾向と財政硬直化

決算監査意見書に、「経常収支比率が過去4年間で上昇し続け82.2%となり1.9ポイント増となっている。

財政硬直化がさらに進んでいることから、経常的経費の削減に一層の努力が求められる。

- ①歳入の確保と歳出の削減
 - ②事業の優先度や緊急性度の精査により最小の経費で「住んで良かった」と実感できる行財政運営に、危機感をもって職務に当たる事が重要
 - ③基礎・基本を理解し効果的かつ効率的な業務の遂行に努められること。
- とありますが、

具体的な対応策をお伺いする。

て交付する必要のない町事業に対する「ふるさと納税」の確保増について手法を検討する。

入江町長

抑制可能な歳出を性質別にみた場合、扶助費、公債費、人件費は限界まで来ている。故に、主に物件費と補助費を中心に見直したい。

物件費の内、委託料と修繕費が主となる。あと本町は補助費の割合が高いので、出来るだけ町民の負担にならないよう分析を行いながら、補助費の見直しを行いたい。

収入では、「ふるさと納税」は町独自のアイデアをもって増額を目指す。また牧野町政時代に蓄積された基金を運用し一定の収益を確保したい。経常収支比率をしっかりと見ながら、危機感をもって財政運営を進めたい。

○ふるさと応援寄附金増加対策

令和元年度のふるさと納税制度によるふるさと応援寄附金実績は前年対比38%増と大幅な伸びとなったが、内訳をみると町内NPO法人への応援寄附金が41.6%増と大幅に伸びた事が要因であり、他の団体支援や町事業への寄附は減少傾向にある。

この要因と、応援寄附金増加対策を伺う。

特に、協働支援センターへの寄付は「0円」である。また、町内自治振興会へは200万円程度で横ばいの実績であり、町事業寄附金に比して、概ね納得できる成果が上がっていると思われる。

各自治会の取り組みの中に、増加対策のヒントはないか。お伺いします。

矢川まちづくり推進課長

本町独自の寄附メニューである自治振興会関連への寄附で、伸びているのは、地域の出身者など関係人口である地域の応援者からが多い。

こういった応援者が継続して頂く事、すなわち心のこもったお礼商品など絆の強化が必要だ。また、施策で寄附を募っているという評価も頂いているので、更に街の魅力を増やそうとしたファンを拡大し、制度をさらに充実させたい。

木野山

今、言われた事を実践されていない自治振興会などに知らしめることが必要だ。また、寄附が伸びている民間の取り組みも参考にすべきでは。

町長

日本全国が対象なので、特徴のある取り組みにより成果は見込める。まだまだピーアール不足なのでしっかりと宣伝しスキルアップに努め、ふるさと納税額を増やしていきたい。

種苗の改正について慎重な審議を求める意見書

現在、国に於いて品種登録をした農産物の国外流出の防止を図ることを目的とした種苗法の改正が検討されており、その改正内容のひとつとして農業者が登録品種の自家増殖を行う場合に、育成権者の許諾を必要とすることが盛り込まれています。

登録品種の国外流出の防止を図ることは重要であり、そのための措置を講じることは必要です。

しかしながら、これまで、農業者が登録品種を作付用の種苗として使う自家増殖は一部を取り除いて原則として認められており、今回の改正によって原則として全ての登録品種の自家増殖が許諾性になると、許諾に関する事務手続きや費用負担の増加などが見込まれ、農業経営等に影響を与えることが懸念される。

よって、種苗法の改正について、農業者に大きな影響を与えることの無いよう、慎重な審議を行う事を求めます。

提案者 木野山孝志
賛成者 橋本輝久

国へ意見書の提出

瀬尾総務課長
主に経常的収入を占める地方交付税と臨時財政対策債が併せて1億6千万円程度の減少となった。歳出の内、物件費、扶助費が年々増加しているが歳出全体では1千5百万程度の減少です。歳入の減少額が大きく、そのため率が上昇した。

一般的には、経常収支比率は7割から8割が理想的であると言われている。状況になるとは一概には言われない。しかし、今後、公債費の上昇や施設修繕費の上昇も見込まれ今後も率の上昇は避けられない。今後は歳入に見合った歳出を基準に最大限歳出の抑制に努める。収入は、現在9億5千万程度確保できている町税収入の維持と、補助金とし

ので、今すぐ財政が危機的状況になるとは一概には言われない。

一般質問

学力学習調査で判明した課題と対応

本年度の学力・学習状況調査は中止となったが昨年判明した課題についてどのように取り組まれたか。

<課題>

「算数・数学」

- 必要なデータを収集分析し課題を解決する事
- 数学的表現を用いて表現すること

「英語」

- ★全国・県平均を下回った。
- あらすじを理解し、肯定文や否定文を正確に書くことができない。

教育長 「算数・数学」
 小学校では情報過多の問題や複数の考え方ができる問題を扱い、ペアワークやグループトークを取り入れ説明や理解ができる授業を展開している。

「英語」
 コミュニケーションを行う目的や場所を明確にし、対話的な学習に繋げている。単元テストの誤答やつまずきを把握し再指導に生かしている。意図的学習班を編成し個人思考を深めるなど課題解決に努めている。

教育長 各学校でも課題解決に向け独自の取り組みを展開している。

町長 中学校レベルでの塾は民間を利用されたら良いと思う

木野山 「まちづくりは人づくり」と言われる。特色あるまちづくりの中にあって、学校教育の充実には本町の信頼に繋がる。教育委員会の役割は。

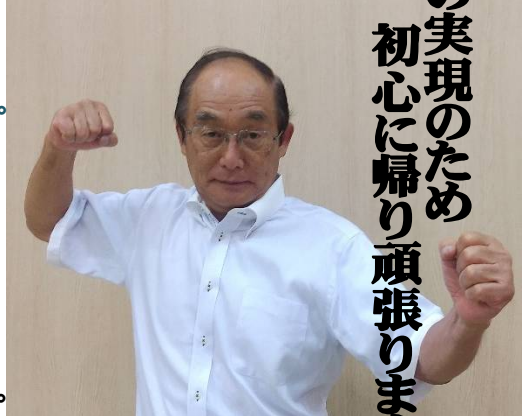
教育長 子供たちが健やかに育ち、活力ある社会の形成者として生涯にわたる学習の基礎を培い、豊かな心を持ち、たくましく生きる人材を育成するために、教育の果たす役割は極めて重要です。教育における「不易と流行」を確実に見極めつつ様々な施策を講じ、「未来を拓く人と文化の創造」故郷を愛する人材の育成を目指して取り組みを進めていくことが、教育委員会に託された役割だと考えています。

木野山 町教育行政は、内外の若者がこの地で子育てをしたいと思える安心安全で魅力ある質の高い「教育環境整備」が必要だがどう思うか。

教育長 子育てとまちづくりは密接に関連していますのでそれらを併せて様々な方面で協議をしていきたい。

まちづくりの目標

- 「高原」をコンセプトにまちづくりを
 ……まちの活性化に夢が広がります。
- お年寄りから子供まで優しいまちづくりを
 ……優しさがまちをつくれます。
- 地域の伝統と文化を大切にしたいまちづくりを
 ……ひとが地域をつくれます。
- 先進地といわれる町づくりを
 ……知恵と行動力が人をひきつけます。



夢の実現のため
 初心に帰り頑張ります